

# 北陸民放クラブだより

## 富山

### 「令和元年 富山が熱かった」

立山 登(KNB)

元号令和の出典は万葉集、大伴家持の父旅人の歌「初春今月、氣淑風和」の令と和からなる。

典拠が越中の国守だった家持が編さんしたとされる万葉集となれば、富山県民が新元号に寄せる慶びと期待はひとしおである。

県内で催事が展開される中、最も注目したのは地元紙に「中西氏考案か!!」と大きく掲載されたこと。中西進氏は万葉集研究の第一人者であり、現在も富山市の「古志の国文学館」の館長である。

まさに呼応するように、令和最初の相撲夏場所が富山市呉羽出身の朝乃山(前頭8枚目 高砂部屋)が十二勝三敗で優勝した。富山県出身者としては横綱太刀山以来103年ぶりの快挙である。そのうえ令和元年から設けられている夏場所のみの優勝杯、それはアメリカ大統領杯。トランプ大統領本人からの授賞である。県民のフィーバーぶりは6月の市中凱旋パレードも含め想像を絶するものだった。

同6月、世界最高峰プロバスケ

ットボールNBAのドラフト会議で富山市奥田中学校出身の八村塁

選手が一巡目の9番目にワシントン・ウィザーズから指名！日本人初めての快挙であり日本バスケット界に新たな歴史が刻まれた。

中学時代の先輩、馬場雄大選手との「立山コンビ」で今年東京五輪での活躍を期待する。

### 石川

#### 新元号記念の「高岡万葉の旅」

亀井 敏(MRO)

新元号「令和」の典拠となった万葉集が注目を集める中、民放クラブ石川では、10月4日、「高岡万葉の旅」を実施、強風と雨中、JR伏木駅から歩いて、高岡市万葉歴史館に向けて出発し、帰路は、越中の国庁があった勝興寺、国守館があった伏木氣象資料館など万葉故地を見学しました。

およそ1200年前に、29歳の若き大伴家持が越中国守として赴任した場所で、万葉びとの世界にひたりました。

その後、高岡市の古城公園で開かれた「万葉集全20巻朗唱の会」

に参加しました。民放クラブ富山の皆さんとの交流行事の一環です。

会場は台風の影響で体育館に変更となりましたが、富山と石川の代表合わせて11名が万葉衣装に身をつつみ、万葉の歌を声高らかに朗唱し、拍手を浴びていました。朗唱会のあとは、高岡市内の炉端焼き店に場所を移し、富山の皆さんとともに、歓談し、大いに交流を深めました。



「万葉歴史館」前で

### 福井

#### 秋の味覚求めてイベント二連発

小川 忍(FTB)

民放クラブ・福井の最大のイベントは、地域の旬の味を楽しんだり、近場に出かける「幸楽会」！毎年、カニ会や芋煮会、富山・石川などへのミニ旅行などに多くの会員が集います。

その幸楽会、昨年の秋パーティーは、ブドウ狩りと干し柿作りの

二連発という欲張りなイベントとなりました。まず第一弾は9月9日にお隣り石川県加賀市の土山ブドウ園で実施されたブドウ狩りで32名が参加。熟れた巨峰とベリーキューに加え、有志会員の手作りにぎりや梅干しなどの差し入れもあり、参加者は大満足。

そして、第二段の干し柿作りは、10月18日に実施。福井市郊外の古民家「杵と臼」に参集した25人は、鮎釣りと干し柿作りが得意な中野会長の指導のもと、次々に柿の皮を剥き、紐に結んで完成させていきました。うまく干し上がれば、長持ちするため正月に食することもできます。

柿剥きのあと参加者全員は恒例の俳句作りにも挑戦。秋の一日を大いに満喫していました。



ブドウ狩り!!



干し柿作り!